

第123回経営協議会議事要録

日 時 令和6年3月22日（金）13時30分～14時40分

会 場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者 (委員)

長田・進藤・山本・山中・窪田・野田・吉岡 各委員

中村学長、奥田・茅・片田・市川・木内 各理事

(列席者)

小林理事、齋藤監事、八巻監事、

志村・土屋・深澤・種田・窪田・望月・石原 各部長、

白澤、大森・雨宮・石井 各課長

議事要録確認

第122回（R6.1.19開催）の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

1 令和6年度当初予算（案）について

市川理事及び種田財務部長から、資料1により、標記予算について説明があり、審議の結果、これを承認した。

2 令和6年度資金運用方針・資金運用計画（案）について

市川理事から、資料2により、標記運用方針・運用計画について説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 令和6事業年度長期借入金の認可申請等（案）について

市川理事から、資料3により、医学部附属病院整備事業に必要な長期借入金及び同償還計画に係る令和6事業年度の認可申請を文部科学省へ行うことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 看護師宿舎A棟の取壊し（案）について

市川理事から、資料4により、医学部キャンパス内の看護師宿舎A棟を取り壊し、当面、教職員駐車スペースとして活用することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

5 自然教育園の廃止（案）について

市川理事から、資料5により、使用実績等を鑑みて自然教育園（甲府市塚原町）を廃止することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 事務体制の見直し（組織改編等）（案）について

片田理事から、資料6により、法人運営体制や教育研究支援体制の強化を図るため、令和6年4月に学術研究部門の集約化や広報・渉外部門の強化など標記見直しを行うことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 就業規則の一部改正（案）について

片田理事から、資料7により、性暴力等防止対応強化、医師働き方改革、旅費単価改定、教員の任期に関する規程及び人事院勧告追加改正等への対応を図るため、就業規則の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

8 大村記念微生物資源研究フロウティラの設置（案）について

黒澤理事から、資料8により、本学の新たな強み・特色となりうる分野として、標記研究組織を立ち上げ、支援していくことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

9 「白血病研究資源センター」の設置（案）について

黒澤理事から、資料9により、白血病細胞株バンクの安定的な保全とさらなる発展等を目的として、標記センターを医学域附置施設として設置することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

10 「一般社団法人山梨大学エンタープライズネクスト」の設立（案）について

市川理事から、資料10により、本学発ベンチャー支援システムを推進する組織として標記法人を設立することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

11 寄附講座の設置に関する合意書（期間延長等）（案）について

市川理事から、資料11により、山梨県と標記合意書を締結することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

1 大型補助金の申請状況等について

市川理事から、資料12により、令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算における大型補助金の申請状況等について報告があった。

2 財務報告書2023について

市川理事から、資料13により、令和4年度財務諸表等を基に、財務情報だけでなく非財務情報（教育・研究・医療に関する成果の紹介等）の内容も一部加え、標記報告書を作成したことについて報告があった。

その他

- 1 木内理事から、机上配付資料により、初期救急の受入れを5月から開始することについて説明があった。
- 2 学長から、机上配付資料により、来年度の本会議開催日程について説明があった。

次回会議 令和6年5月24日（金）13時30分から開催することを確認した。

学外委員からの意見・質問

審議事項

1 令和6年度当初予算（案）について

（山本委員）

- ・国立大学は運営費交付金が増えないことには何もできない。国大協の会議等で散発的に議論はできるが全体で意見がまとまるわけでもない。中村学長には先頭を切って発言していただきたい。

（中村学長）

- ・色々な場面で発信していきたいと考えている。

（野田委員）

- ・不足する予算を捻出する方策の現状のイメージを伺いたい（乾いた雑巾を絞るような形で捻りだしているのか、多少余裕があるのか）。

（種田財務部長）

- ・財務状況は、厳しい。
- ・人件費が大半を占めており、削減には時間が必要となる。それまでの間は、物件費等を削減して、対応していきたい。

（窪田委員）

- ・退職金は積み立てをしているのか。

（片田理事）

- ・法人化の際に籍があったポストに係る退職金については運営費交付金として国から措置されるが、それ以外については自前で積み立てている。また、退職金相当額を毎月の給与に含めて支給する制度の運用も行っている。

4 看護師宿舎A棟の取壊し（案）について

（野田委員）

- ・関連して、新外来棟はリニア駅方面である南側を正面としているが、医療ツーリズムを見据えてのことか。

（木内理事）

- ・スペースの関係上、南側を正面とすることとした。また、災害時のライフラインを考慮すると環状道路やリニアへのアクセスの良いことなど、総合的に判断した。

6 事務体制の見直し（組織改編等）（案）について

（進藤委員）

- ・監査室は、学長直轄ということか。

（片田理事）

- ・監査を客観的に行えるよう事務組織ではなく学長直轄としている。

7 就業規則の一部改正（案）について

（山本委員）

- ・生命農学系の講師以上に任期制を導入と記されているが、範囲を拡大するということか。

（片田理事）

- ・生命農学系はこれまで助教のみの適用であったが、教授から助教まで全体に導入するものである。

8 大村記念微生物資源研究フロウティラの設置（案）について

（山本委員）

- ・教員が再配置されるのか。
- ・大学院総合研究部附属の組織ではないのか。
- ・事務はどこが担当するのか。

（志村総務企画部長）

- ・教員組織としてではなく、学内者の兼担により対応する。
- ・大学院総合研究部附属としてではなく、当面はセンターの前段階（ユニット的位置づけ）として実績を積んでから、センター化（正式な組織として位置づけ）する方向で考えている。
- ・事務は、学術研究部が担当する。

11 寄附講座の設置に関する合意書（期間延長等）（案）について

（長田委員）

- ・山梨県としても、引き続き大学と協力して（周産期医療提供体制の充実等を充実させて）いきたいと考えている。

（中村学長）

- ・引き続き協力をお願いしたい。

その他

（進藤委員）

- ・初期救急の受入れ開始により増加すると見込まれる時間外労働について、現場の各々の医師と合意できているのか。

（木内理事）

- ・これから各医師と契約を結ぶ予定である。
- ・時間外労働削減対策について県や医師会による確認を受けた上で、初期救急の受け入れを開始する予定である。